

宛名

令和3年度厚生労働省保険局医療課による委託事業

## 医療機関の薬剤師における業務実態調査

「令和3年度 医療機関の薬剤師における業務実態調査」へのご協力をお願い

令和3年8月 厚生労働省保険局医療課

### 1. 本調査の趣旨

厚生労働省はこれまで、患者の適切な薬物療法、チーム医療の推進等の観点から、薬剤師業務に係る診療報酬改定を随時行ってきました。また、中央社会保険医療協議会の令和2年度診療報酬改定に係る答申書附帯意見において「医師・医療従事者の働き方改革を推進し、地域医療を確保するための取組に係る今回改定での対応について、その効果等を検証・調査するとともに、適切な評価の在り方について引き続き検討すること。」とされています。他職種と連携した適切な薬物療法を一層推進するため、医療機関の薬剤師の業務実態等を調査し、課題等を明らかにすることで、次期診療報酬改定に反映することを予定しています。

本調査は、上記の検討にあたり、薬剤師の業務実態、医療従事者の負担軽減措置の影響等を把握し、その課題等を明らかにするものです。本調査結果は集計のうえ、診療報酬の議論に活用させていただきます。

### 2. 貴施設へのご依頼内容

「**薬剤部責任者**」がご記入ください。

(1) 次頁以降に54の設問からなる調査票がございます。貴施設の業務状況を踏まえ、各設問にご回答ください。  
※設問ごとに、択一選択と複数選択の指定がございますので、ご回答時にご留意願います。

(2) ご回答が終わりましたら、本紙と同送いたしました封筒により、事務局までご返送ください（切手不要）。  
※調査票は、PDFファイルにて、下記E-Mailアドレスまでお送りいただいても結構です。  
その場合は添付ファイルにパスワードを設定する等、適切なセキュリティを付与してください。

### 3. ご回答期限

**令和3年9月15日（水）【この日までにお送りください。】**

### 4. 本調査に係るお問い合わせ先

「令和3年度医療機関の薬剤師における業務実態調査」事務局 株式会社オノフ  
TEL: 03-5579-9856 (10:00~18:00、土日・祝日除く)  
E-Mail: mrd@onoff.ne.jp

ご多忙の折とは存じますが、何卒ご協力の程を宜しくお願い申し上げます。

## ご回答方法

あてはまる番号を○（マル）で囲んでください。

- ・「○は1つだけ」という質問には、あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。
- ・「○はいくつでも」という質問には、あてはまる番号を全て○で囲んでください。
- ・（ ）内には具体的な数値、用語等をご記入ください。
- ・（ ）内に数値を記入する設問で、該当なしは「—」を記入し、わからない場合は空欄にしておいてください。
- ・特に断りのない限り、令和3年8月1日現在の状況についてお答えください。

※ 最初に、貴医療機関の基本的な情報を記入してください。			
電 話 番 号		ファクス番号	
医 療 機 関 名			
住 所	〒		

## < I : 貴施設の概要についてお伺いします。 >

問1 貴施設の開設者につき、組織分類として該当するものをお選びください。(○は1つだけ)			
01 国	02 公立	03 公的	04 社会保険関係団体
05 医療法人 (社会医療法人は除く)	06 会社	07 その他の法人	08 個人
<p>&lt;選択肢詳細&gt;</p> <p>国：国、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康安全機構、国立高度専門医療研究センター、独立行政法人地域医療機能推進機構</p> <p>公立：都道府県、市町村、地方独立行政法人</p> <p>公的：日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会</p> <p>社会保険関係：健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合</p> <p>医療法人：医療法人</p> <p>会社：株式会社等</p> <p>その他の法人：社会医療法人、公益法人、医療生協、その他の法人</p>			

問2 貴施設の標榜診療科（※1）につき、以下から該当するものをお選びください。(○はいくつでも)				
01 内科系	02 皮膚科	03 小児科	04 精神科	05 外科系
06 泌尿器科	07 脳神経外科	08 整形外科	09 眼科	10 産婦人科・産科
11 リハビリテーション科	12 放射線科	13 麻酔科	14 救急科	
15 耳鼻咽喉科	16 歯科・歯科口腔外科	17 その他（	）	
<p>※1. 内科系：内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、糖尿病内科、血液内科、感染病内科、アレルギー内科、リウマチ内科、心療内科、神経内科等</p> <p>外科系：外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科、肝門外科、小児外科等</p>				

問3 貴施設のDPC対応状況として該当するものをお選びください。(○は1つだけ)		
01 DPC対象病院	02 DPC準備病院	03 DPC対象病院・準備病院以外

問4 貴施設の承認等の状況として該当するものをお選びください。(〇はいくつでも)

01 特定機能病院	02 地域医療支援病院	03 悪性腫瘍に係る専門病院(※2)
04 循環器疾患に係る専門病院(※2)	05 当てはまるものはない	

※2. 主として悪性腫瘍、循環器疾患等の患者を入院させる保険医療機関であって高度かつ専門的な医療を行っているものとして  
地方厚生局長等に届け出たもの

問5 貴施設における許可病床数(※3)をご記入ください。「療養病床」には介護療養病床も含めてください。

1) 一般病床	2) 療養病床	3) 精神病床	4) 結核病床	5) 感染症病床	病院全体
( ) 床	( ) 床	( ) 床	( ) 床	( ) 床	( ) 床

※3. 医療法に基づく病床数

問6 貴施設における院外処方箋発行率をご記入下さい。

約 ( ) %

問7 貴施設では、診療報酬の算定に関して、以下を算定していますか。  
(1)～(5)は届出の有無、(6)～(21)は、令和3年6月1か月の算定件数をご記入ください。

(1) A243 1 後発医薬品使用体制加算 1 (47 点) (数量シェア 85%以上)	1. 届出あり 2. 届出なし
(2) A243 2 後発医薬品使用体制加算 2 (42 点) (数量シェア 80%以上)	1. 届出あり 2. 届出なし
(3) A243 3 後発医薬品使用体制加算 3 (37 点) (数量シェア 70%以上)	1. 届出あり 2. 届出なし
(4) A244 1 病棟薬剤業務実施加算 1 (週 1 回 120 点)	1. 届出あり 2. 届出なし
(5) A244 2 病棟薬剤業務実施加算 2 (1 日 100 点)	1. 届出あり 2. 届出なし
(6) A246 1 入退院支援加算 1 (退院時 一般病棟 600 点 療養病棟 1200 点)	( ) 件
(7) A246 2 入退院支援加算 2 (退院時 一般病棟 190 点 療養病棟 635 点)	( ) 件
(8) A246 3 入退院支援加算 3 (退院時 1200 点)	( ) 件
(9) A250 薬剤総合評価調整加算 (退院時 1 回 100 点)	( ) 件
(10) A250 薬剤調整加算 (減薬した場合更に 150 点)	( ) 件
(11) B004 退院時共同指導料 1 (1500 点または 900 点)	( ) 件
(12) B005 退院時共同指導料 2 (400 点)	( ) 件
(13) B008 1 薬剤管理指導料 1 (380 点)	( ) 件
(14) B008 2 薬剤管理指導料 2 (325 点)	( ) 件
(15) B008-2 薬剤総合評価調整管理料 (月 1 回 250 点)	( ) 件
(16) B008-2 薬剤総合評価調整管理料 注 2 連携管理加算 (50 点)	( ) 件
(17) B014 退院時薬剤情報管理指導料 (退院時 1 回 90 点)	( ) 件
(18) B014 退院時薬剤情報連携加算 (退院時 1 回 60 点)	( ) 件
(19) B001-23 がん患者指導管理料ハ (200 点)	( ) 件
(20) 外来化学療法加算 1 抗悪性腫瘍剤を注射した場合 (820 点または 600 点)	( ) 件
(21) 連携充実加算 (月 1 回 150 点)	( ) 件

問8 貴施設の令和3年6月1ヶ月の入院患者数・外来延べ患者数をご記入ください。	
入院患者数	外来延べ患者数
( )人	( )人

問9 貴施設の薬剤師数（ <u>薬剤部門以外に所属する薬剤師も含めた全体の人数</u> ）を常勤・非常勤・派遣別にご記入ください。					
	常勤	非常勤		派遣	
		実人数	常勤換算人数 （※4）	実人数	常勤換算人数 （※4）
薬剤師	( )人	( )人	( )人	( )人 派遣元 あてはまるものを全てお選びください 01 同一法人内 02 地域の大学や病院 03 派遣会社 04 その他 (具体的に )	( )人

※4 常勤換算については、以下の方法で算出してください。常勤換算後の職員数は小数点以下第1位までお答えください。  
 ■1週間に数回勤務の場合：（非常勤職員の1週間の勤務時間）÷（貴施設で定めている常勤職員の1週間の勤務時間）  
 ■1か月に数回勤務の場合：（非常勤職員の1か月の勤務時間）÷（貴施設で定めている常勤職員の1週間の勤務時間×4）

問10 貴施設薬剤部門に所属する薬剤師数およびその他の職員を常勤、非常勤別にご記入ください。				
		常勤	非常勤	
			実人数	常勤換算人数 （※4）
(1) 薬剤師		( )人	( )人	( )人
(2) その他の職員	1. 主に事務作業に従事する者	( )人	( )人	( )人
	2. 主に調剤補助に従事する者	( )人	( )人	( )人
	3. その他 (具体的に )	( )人	( )人	( )人

問11 貴施設の平日の平均薬剤師数（当直明け、休日代休の人数を除く）を常勤、非常勤別にご記入ください。				
		常勤	非常勤	
			実人数	常勤換算人数 （※4）
(1) 薬剤師	(平均)	( )人	( )人	( )人

問12 貴施設での後発医薬品使用割合をご記入ください。〈新指標、数量ベース〉

(令和3年4月～6月) ※小数点以下第1位まで

※(1か月に調剤した後発医薬品について薬価基準上の規格単位ごとに数えた数量) ÷ (1か月に調剤した後発医薬品ありの先発医薬品と後発医薬品について薬価基準上の規格単位ごとに数えた数量) × 100 (%)

		4月	5月	6月
令和3年	外来	( . )%	( . )%	( . )%
	入院	( . )%	( . )%	( . )%

問13 令和3年6月1か月におけるカットオフ値の割合をお答えください。※小数点以下第1位まで  
 ※後発医薬品あり先発医薬品及び後発医薬品の規格単位数量 ÷ 全医薬品の規格単位数量

カットオフ値の割合 ( . )%

問14 貴施設の前にはいわゆる「門前薬局」(※5)はありますか。(○は1つだけ)  
 ある場合については、その薬局数をわかる範囲でお答えください。

01 ある → (薬局数 軒) 02 ない

※5 公道又はこれに準ずる道路、フェンス等を介して、医療機関の周辺に立地している薬局

問15 貴施設の敷地内にはいわゆる「敷地内薬局」とされる保険薬局はありますか。(○は1つだけ)  
 ある場合については、その薬局数をお答えください。

01 ある → (薬局数 軒) 02 ない

問16 敷地内薬局と連携して実施していることはありますか。(○は1つだけ)

01 ある → 問17へ 02 ない → 問18へ

■問17は、問16で「01 ある」と回答した方のみお答えください。

問17 具体的にどのようなことを連携して行っているかご記入ください。

〈Ⅱ：薬剤師の入院時の業務状況等についてお伺いします。〉

問18 貴施設の病棟に配置されている薬剤師数を常勤・非常勤別にご記入ください。

	常勤	非常勤
病棟配置の薬剤師	( )人	( )人

問 19 地域包括ケア病棟入院料を算定する病棟の貴施設の対応についてお答えください。  
(○は 1 つだけ)

- 01 専任の薬剤師を配置し、20 時間相当の病棟薬剤業務を実施している →問 20 へ
- 02 専任の薬剤師を配置し、20 時間に満たないが病棟薬剤業務を実施している →問 20 へ
- 03 専任の薬剤師は配置していないが、病棟薬剤業務を実施している →問 20 へ
- 04 介入していない →問 21 へ
- 05 対象病棟なし →問 21 へ

■問 20 は、問 19 で「01 専任の薬剤師を配置し、20 時間相当の病棟薬剤業務を実施している」「02 専任の薬剤師を配置し、20 時間に満たないが病棟薬剤業務を実施している」「03 専任の薬剤師は配置していないが、病棟薬剤業務を実施している」と回答した方のみお答えください。

問 20 地域包括ケア病棟入院料を算定する病棟で実施している病棟薬剤業務をお選びください。(○はいくつでも) <本問回答後は引き続き、問 21 へ>

- 01 服薬指導
- 02 患者背景 及び 持参薬 の確認
- 03 医薬品の情報収集
- 04 医薬品の投与・注射状況の把握 (カルテ)
- 05 薬剤を同時に投与する場合の相互作用の確認 (カルテ)
- 06 薬剤投与にあたり、流量又は投与量の計算、配合変化の確認 (カルテ)
- 07 抗がん剤の適切な無菌調製
- 08 抗がん剤を投与されている患者のレジメンチェック (カルテ)
- 09 医薬品の適正な保管・管理
- 10 持参薬の評価 に基づく処方設計と提案
- 11 医療従事者へ医薬品情報の情報提供等
- 12 医薬品の投与・注射状況の把握 (患者面談)
- 13 患者のベッドサイドで流量又は投与量、投与ルート、配合変化の確認
- 14 ハイリスク薬を使用する患者への事前の説明
- 15 退院時の薬学的管理指導
- 16 薬剤のアドヒアランス及び服薬の阻害要因を評価・確認する
- 17 医師に処方提案
- 18 医師に検査提案
- 19 医療スタッフからの相談応需
- 20 退院先の医療機関、保険薬局、介護保険施設との連携
- 21 副作用モニタリングと対応提案
- 22 医薬品の投与・注射状況の把握 (カンファレンス、回診)
- 23 薬物療法プロトコールを設計提案し、医師等と協働して作成し、それに基づく実施と管理
- 24 その他 (具体的に )

問 21 回復期リハビリテーション病棟入院料を算定する病棟の貴施設の対応についてお答えください。  
(○は 1 つだけ)

- 01 専任の薬剤師を配置し、20 時間相当の病棟薬剤業務を実施している →問 22 へ
- 02 専任の薬剤師を配置し、20 時間に満たないが病棟薬剤業務を実施している →問 22 へ
- 03 専任の薬剤師は配置していないが、病棟薬剤業務を実施している →問 22 へ
- 04 介入していない →問 23 へ
- 05 対象病棟なし →問 23 へ

■問 22 は、問 21 で「01 専任の薬剤師を配置し、20 時間相当の病棟薬剤業務を実施している」「02 専任の薬剤師を配置し、20 時間に満たないが病棟薬剤業務を実施している」「03 専任の薬剤師は配置していないが、病棟薬剤業務を実施している」と回答した方のみお答えください。

問 22 回復期リハビリテーション病棟入院料を算定する病棟で実施している病棟薬剤業務をお選びください。(○はいくつでも) <本問回答後は引き続き、問 23 へ>

- 01 服薬指導
- 02 患者背景 及び 持参薬 の確認
- 03 医薬品の情報収集
- 04 医薬品の投与・注射状況の把握 (カルテ)
- 05 薬剤を同時に投与する場合の相互作用の確認 (カルテ)
- 06 薬剤投与にあたり、流量又は投与量の計算、配合変化の確認 (カルテ)
- 07 抗がん剤の適切な無菌調製
- 08 抗がん剤を投与されている患者のレジメンチェック (カルテ)
- 09 医薬品の適正な保管・管理
- 10 持参薬の評価 に基づく処方設計と提案
- 11 医療従事者へ医薬品情報の情報提供等
- 12 医薬品の投与・注射状況の把握 (患者面談)
- 13 患者のベッドサイドで流量又は投与量、投与ルート、配合変化の確認
- 14 ハイリスク薬を使用する患者への事前の説明
- 15 退院時の薬学的管理指導
- 16 薬剤のアドヒアランス及び服薬の阻害要因を評価・確認する
- 17 医師に処方提案
- 18 医師に検査提案
- 19 医療スタッフからの相談応需
- 20 退院先の医療機関、保険薬局、介護保険施設との連携
- 21 副作用モニタリングと対応提案
- 22 医薬品の投与・注射状況の把握 (カンファレンス、回診)
- 23 薬物療法プロトコールを設計提案し、医師等と協働して作成し、それに基づく実施と管理
- 24 その他 (具体的に )

問 23 小児入院医療管理料を算定する病棟の貴施設の対応についてお答えください。(○は 1 つだけ)

- 01 専任の薬剤師を配置し、20 時間相当の病棟薬剤業務を実施している →問 24 へ
- 02 専任の薬剤師を配置し、20 時間に満たないが病棟薬剤業務を実施している →問 24 へ
- 03 専任の薬剤師は配置していないが、病棟薬剤業務を実施している →問 24 へ
- 04 介入していない →問 25 へ
- 05 対象病棟なし →問 25 へ



■問 24 は、問 23 で「01 専任の薬剤師を配置し、20 時間相当の病棟薬剤業務を実施している」「02 専任の薬剤師を配置し、20 時間に満たないが病棟薬剤業務を実施している」「03 専任の薬剤師は配置していないが、病棟薬剤業務を実施している」と回答した方のみお答えください。

問 24 小児入院医療管理料を算定する病棟で実施している病棟薬剤業務をお選びください。(〇はいくつでも) <本問回答後は引き続き、問 25 へ>
01 服薬指導 02 患者背景 及び 持参薬 の確認 03 医薬品の情報収集 04 医薬品の投与・注射状況の把握(カルテ) 05 薬剤を同時に投与する場合の相互作用の確認(カルテ) 06 薬剤投与にあたり、流量又は投与量の計算、配合変化の確認(カルテ) 07 抗がん剤の適切な無菌調製 08 抗がん剤を投与されている患者のレジメンチェック(カルテ) 09 医薬品の適正な保管・管理 10 持参薬の評価 に基づく処方設計と提案 11 医療従事者へ医薬品情報の情報提供等 12 医薬品の投与・注射状況の把握(患者面談) 13 患者のベッドサイドで流量又は投与量、投与ルート、配合変化の確認 14 ハイリスク薬を使用する患者への事前の説明 15 退院時の薬学的管理指導 16 薬剤のアドヒアランス及び服薬の阻害要因を評価・確認する 17 医師に処方提案 18 医師に検査提案 19 医療スタッフからの相談応需 20 退院先の医療機関、保険薬局、介護保険施設との連携 21 副作用モニタリングと対応提案 22 医薬品の投与・注射状況の把握(カンファレンス、回診) 23 薬物療法プロトコールを設計提案し、医師等と協働して作成し、それに基づく実施と管理 24 その他(具体的に )

貴施設の病棟を1つ選出いただき、任意の1週間の病棟薬剤業務の実施の程度と、当該業務の実施時間をご記入ください。

問 25 選出いただいた病棟では病棟薬剤業務実施加算を算定していますか。該当するものをお選びください。(〇は1つだけ)
01 病棟薬剤業務実施加算1を算定している 02 病棟薬剤業務実施加算2を算定している 03 病棟薬剤業務実施加算1と2を算定している 04 算定していない

問 26 選出いただいた病棟の診療科はどちらですか。(〇はいくつでも)
01 内科系            02 皮膚科            03 小児科            04 精神科            05 外科系 06 泌尿器科        07 脳神経外科       08 整形外科        09 眼科               10 産婦人科・産科 11 リハビリテーション科            12 放射線科        13 麻酔科            14 救急科 15 耳鼻咽喉科      16 歯科・歯科口腔外科            17 その他( )

※1. 内科系：内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、糖尿病内科、血液内科、感染内科、アレルギー内科、リウマチ内科、心療内科、神経内科等  
 外科系：外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科、肝臓外科、小児外科等



問 27 選出いただいた病棟では化学療法を実施していますか。(○は 1 つだけ)

01 実施している

02 実施していない

問 28 選出いただいた病棟の 1 週間 (20 時間相当) の病棟薬剤業務実施時間の合計をご記入ください。

1 週間の病棟薬剤業務の実施時間 ( ) 時間

問 29 問 28 で回答いただいた、選出いただいた病棟の 1 週間 (20 時間相当) の病棟薬剤業務実施時間合計の内訳として、各業務の実施程度と実施時間をご記入ください。

薬剤師の業務		当該業務の 実施程度	当該業務の 実施時間
対物業務	患者背景 及び 持参薬 の確認	1: 毎日 2: 週4日 3: 週3日 4: 週2日 5: 週1日 6: 実施なし	( ) 時間
	医薬品の情報収集	1: 毎日 2: 週4日 3: 週3日 4: 週2日 5: 週1日 6: 実施なし	( ) 時間
	医薬品の投与・注射状況の把握 (カルテ)	1: 毎日 2: 週4日 3: 週3日 4: 週2日 5: 週1日 6: 実施なし	( ) 時間
	薬剤を同時に投与する場合の相互作用の確認 (カルテ)	1: 毎日 2: 週4日 3: 週3日 4: 週2日 5: 週1日 6: 実施なし	( ) 時間
	薬剤投与にあたり、流量又は投与量の計算、配合変化の確認 (カルテ)	1: 毎日 2: 週4日 3: 週3日 4: 週2日 5: 週1日 6: 実施なし	( ) 時間
	抗がん剤の適切な無菌調製	1: 毎日 2: 週4日 3: 週3日 4: 週2日 5: 週1日 6: 実施なし	( ) 時間

\*本問は次ページに続きます。

	抗がん剤を投与されている患者のレジメンチェック（カルテ）	1: 毎日 2: 週4日 3: 週3日 4: 週2日 5: 週1日 6: 実施なし	( ) 時間
	医薬品の適正な保管・管理	1: 毎日 2: 週4日 3: 週3日 4: 週2日 5: 週1日 6: 実施なし	( ) 時間
对患者、 医療従事 者業	持参薬の評価 に基づく処方設計と提案	1: 毎日 2: 週4日 3: 週3日 4: 週2日 5: 週1日 6: 実施なし	( ) 時間
	医療従事者へ医薬品情報の情報提供等	1: 毎日 2: 週4日 3: 週3日 4: 週2日 5: 週1日 6: 実施なし	( ) 時間
	医薬品の投与・注射状況の把握（患者面談）	1: 毎日 2: 週4日 3: 週3日 4: 週2日 5: 週1日 6: 実施なし	( ) 時間
	患者のベッドサイドで流量又は投与量、投与ルート、配合変化の確認	1: 毎日 2: 週4日 3: 週3日 4: 週2日 5: 週1日 6: 実施なし	( ) 時間
	ハイリスク薬を使用する患者への事前の説明	1: 毎日 2: 週4日 3: 週3日 4: 週2日 5: 週1日 6: 実施なし	( ) 時間
	退院時の薬学的管理指導	1: 毎日 2: 週4日 3: 週3日 4: 週2日 5: 週1日 6: 実施なし	( ) 時間
	薬剤のアドヒアランス及び服薬の阻害要因を評価・確認する	1: 毎日 2: 週4日 3: 週3日 4: 週2日 5: 週1日 6: 実施なし	( ) 時間
	医師に処方提案	1: 毎日 2: 週4日 3: 週3日 4: 週2日 5: 週1日 6: 実施なし	( ) 時間

\*本問は次ページに続きます。

	医師に検査提案	1: 毎日 2: 週4日 3: 週3日 4: 週2日 5: 週1日 6: 実施なし	( ) 時間
	医療スタッフからの相談応需	1: 毎日 2: 週4日 3: 週3日 4: 週2日 5: 週1日 6: 実施なし	( ) 時間
	退院先の医療機関、保険薬局、介護保険施設との連携	1: 毎日 2: 週4日 3: 週3日 4: 週2日 5: 週1日 6: 実施なし	( ) 時間
	副作用モニタリングと対応提案	1: 毎日 2: 週4日 3: 週3日 4: 週2日 5: 週1日 6: 実施なし	( ) 時間
チーム 医療	医薬品の投与・注射状況の把握（カンファレンス、回診）	1: 毎日 2: 週4日 3: 週3日 4: 週2日 5: 週1日 6: 実施なし	( ) 時間
	薬物療法プロトコールを設計提案し、医師等と協働して作成し、それに基づく実施と管理	1: 毎日 2: 週4日 3: 週3日 4: 週2日 5: 週1日 6: 実施なし	( ) 時間
	その他（具体的に )	1: 毎日 2: 週4日 3: 週3日 4: 週2日 5: 週1日 6: 実施なし	( ) 時間

〈Ⅲ：薬剤師の外来における業務状況等についてお伺いします。（院内処方を除く）〉

問 30 貴施設では、外来で薬剤師が関与することはありますか。（院内処方を除く）（○は1つだけ）

- 01 ある →問 31 へ  
02 現在はないが、今後関与予定 →問 31 へ  
03 ない →問 38 へ

■問31～33は、問30で「01 ある」「02 現在はないが、今後関与予定」と回答した方のみお答えください。

問31 貴施設では、どのような体制で、外来で薬剤師が関与しますか。（院内処方を除く）			
	常勤	非常勤	
		実人数	常勤換算人数 （※4）
薬剤師			
※問30で「02 現在はないが、今後関与予定」を回答された方で人数が未定の場合は、空欄で構いません。	( )人	( )人	( )人

※4 常勤換算については、以下の方法で算出してください。常勤換算後の職員数は小数点以下第1位までお答えください。

■1週間に数回勤務の場合：(非常勤職員の1週間の勤務時間) ÷ (貴施設で定めている常勤職員の1週間の勤務時間)

■1か月に数回勤務の場合：(非常勤職員の1か月の勤務時間) ÷ (貴施設で定めている常勤職員の1週間の勤務時間×4)

問32 貴施設では、病棟担当者が担当している診療科の外来も担当しますか。（〇は1つだけ）	
01 はい	02 いいえ

問33 貴施設では、どのような分野に外来で薬剤師が関与しますか。（〇はいくつでも）	
01 がん → 問34へ	
02 糖尿病	
03 認知症	
04 循環器	
05 慢性腎臓病	
06 喘息・慢性閉塞性肺疾患	
07 関節リウマチ	
08 C型肝炎	
09 HIV感染症	
10 周術期	
11 妊婦授乳婦	
12 救急	
13 精神	
14 その他（具体的に	)

■問34～37は、問33で「01 がん」と回答した方のみお答えください。

問34 貴施設では、5年以上薬剤師としての業務に従事した経験及び3年以上化学療法に係る業務に従事した経験を有し、40時間以上のがんにかかる適切な研修を修了し、がん患者に対する薬剤管理指導の実績を50症例（複数のがん種であることが望ましい。）以上有する薬剤師はいらっしゃいますか。（〇は1つだけ）	
01 いる	02 いない

問35 貴施設では、内服抗がん剤で治療を行っている患者に、外来で薬剤師が関与する場合、がんに関する資格を持っている薬剤師が対応していますか。（院内処方は除く）（〇は1つだけ）	
01 はい	02 いいえ

問 36 内服抗がん剤で治療を行っている患者に、外来でどのタイミングで関わっていますか（院内処方  
は除く）（○は1つだけ）

- 01 医師の診察前
- 02 医師の診察後
- 03 決まっていない
- 04 その他（具体的に )

問 37 内服抗がん剤で治療を行っている患者に、外来で介入する理由について該当するものを全てお選  
びください。（院内処方は除く）（○はいくつでも）

- 01 医師の負担軽減のため
- 02 医療の質の向上のため
- 03 薬局との連携のため
- 04 その他（具体的に )

問 38 貴施設では、内服抗がん剤のみの化学療法にレジメンがありますか（○は1つだけ）

- 01 ある →問 39 へ
- 02 ない →問 41 へ

■問 39 は、問 38 で「01 ある」と回答した方のみお答えください。

問 39 貴施設では、内服抗がん剤のみのレジメンを保険薬局に共有していますか（○は1つだけ）

- 01 共有している →問 40 へ
- 02 共有していない →問 41 へ

■問 40 は、問 39 で「01 共有している」と回答した方のみお答えください。

問 40 貴施設では、内服抗がん剤のみのレジメンを保険薬局に共有する際に、どのような方法で共有し  
ていますか。（○はいくつでも）

- 01 薬業連携による勉強会を実施
- 02 レジメンに対する説明会を実施
- 03 ウェブサイトで周知
- 04 その他（具体的に )

#### <IV：地域の保険薬局との連携状況（入退院時等の連携等）についてお伺いします。>

<■入院時についてお伺いします。>

問 41 持参薬の確認はどのように実施されていますか。（○はいくつでも）

- 01 入院前に入退院支援部門に所属している薬剤師が確認
- 02 入院前に入退院支援部門以外に所属している薬剤師が確認
- 03 入院前に保険薬局に確認を依頼
- 04 入院時に薬剤師が持参薬を確認
- 05 入院時に看護師が持参薬を確認
- 06 特に持参薬の確認を実施していない
- 07 その他（具体的に )

問 42 入院時に薬局から情報提供して欲しい具体的な内容についてお選びください。(〇はいくつでも)

- 01 患者の服薬アドヒアランスの情報
- 02 患者から受けた治療等に関する相談の情報
- 03 患者が他院からもらっている薬剤の情報
- 04 患者が服用している一般用医薬品の情報
- 05 患者が使用している健康食品の情報
- 06 過去の薬剤服用歴
- 07 副作用歴など過去の治療中の体調変化の情報
- 08 アレルギー歴
- 09 特にない
- 10 その他(具体的に

)

< ■退院時共同指導、退院時カンファレンスについてお伺いします。 >

問 43 退院時共同指導、退院時カンファレンスにおける、院外の薬剤師の参加についてお答えください。(〇はいくつでも)

- 01 保険薬局の薬剤師が参加している
- 02 診療所の薬剤師が参加している
- 03 院外の薬剤師は参加していない

問 44 退院時共同指導、退院時カンファレンスへの院外の薬剤師の参加はどのように依頼しますか。(〇はいくつでも)

- 01 地域連携室が依頼する
- 02 患者や患者家族にかかりつけ薬剤師や退院後に利用する予定の薬局を確認し依頼する
- 03 わからない
- 04 その他(具体的に

)

問 45 貴施設において、病気や障害で長期的な支援を必要とする小児(医療的ケア児、小児慢性特定疾患等)が在宅医療に移行する時、成人の在宅移行に比べ地域の薬局等へ情報提供が必要な情報量が多い項目を全て選択してください。(〇はいくつでも)

- 01 調剤に関する情報
- 02 投与手技に関する情報
- 03 薬剤の管理に関する情報
- 04 無菌製剤処理に関する情報
- 05 医療材料に関する情報
- 06 該当患者がない
- 07 特にない
- 08 その他(具体的に

)



〈V. 最後に、その他の内容についてお伺いします。〉

問 46 貴施設でPBPM（※6）を実施していますか。（○は1つだけ）

- 01 現在実施している →問 47 へ
- 02 現在実施していないが、今後実施予定 →問 47 へ
- 03 現在実施しておらず、今後も実施予定なし →問 50 へ

※6 医師と共同で作成したプロトコールに基づく薬物治療管理

■問 47、48 は、問 46 で「01 現在実施している」「02 現在実施していないが、今後実施予定」と回答した方のみお答えください。

問 47 貴施設において、実施されるPBPM の内容について該当するものを全て選択してください。（○はいくつでも）。

- 01 がん化学療法（入院）
- 02 がん化学療法（外来：医師の診察前）
- 03 がん化学療法（外来：医師の診察後）
- 04 周術期（手術前）
- 05 周術期（手術室）
- 06 周術期（手術後）
- 07 抗凝固薬
- 08 感染症治療
- 09 持参薬
- 10 TDM
- 11 検査オーダー
- 12 院外処方箋の保険薬局からの問い合わせ
- 13 保険薬局からのトレーシングレポート
- 14 その他（具体的に

問 48 貴施設において、実施されるPBPM の妥当性を評価し承認する委員会がありますか。（○は1つだけ）

- 01 ある →問 49 へ
- 02 ない →問 50 へ

■問 49 は、問 48 で「01 ある」と回答した方のみお答えください。

問 49 PBPM の妥当性を評価し承認する委員会はどのような委員会ですか。（○はいくつでも）

- 01 薬事委員会
- 02 医療安全委員会
- 03 クリニカルパス委員会
- 04 PBPM 委員会
- 05 その他（

問 50 貴施設における、医薬品の採用についてお伺いします。  
「1増1減ルール」による採用を行っていますか。（○は1つだけ）

- 01 行っている →問 51 へ
- 02 行っていない →問 52 へ

■問51は、問50で「01 行っている」と回答した方のみお答えください。

問51 貴施設では、小児製剤について「1増1減ルール」の対象としていますか。  
(○は1つだけ)

01 対象としている

02 対象としていない

問52 貴施設には手術室がありますか。(○は1つだけ)

01 ある →問53へ

02 ない

■問53は、問52で「01 ある」と回答した方のみお答えください。

問53 貴施設では、薬剤師は手術関連業務に関与していますか。(○は1つだけ)

01 関与している →問54へ

02 関与していない

■問54は、問53で「01 関与している」と回答した方のみお答えください。

問54 貴施設の薬剤師が実施している手術関連業務をお選びください。(○はいくつでも)

01 手術室で使用する薬の処方の提案

02 注射薬の用法用量、相互作用について監査

03 麻薬・向精神薬・筋弛緩薬の管理

04 麻酔薬(液・ガス)管理

05 医療材料管理

06 注射ルート管理

07 薬剤のミキシングやシリンジの充填

08 回診やカンファレンスへの参加を通じた患者情報の共有や提供

09 投与量や投与速度の算出

10 麻酔チャート・術後感染予防薬の処方監査

11 使用薬の確認・照合

12 医薬品カート等による医薬品セットの管理

13 その他(具体的に

)

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。